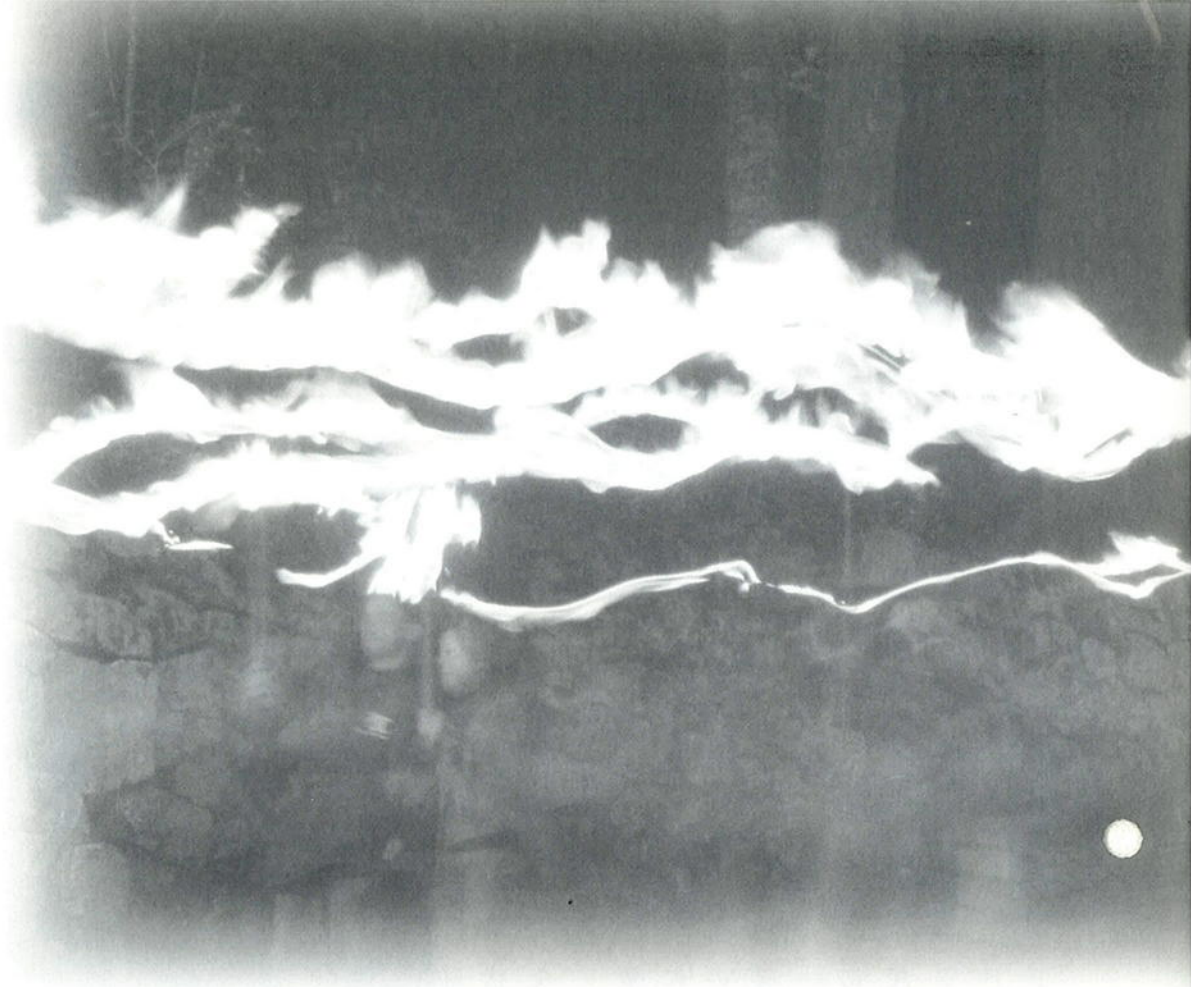


たいまつ行列

(6月3日前夜祭)

大神山神社から石畳の参道をたいまつを持った約2000人の人々が歩きました。倉敷市から参加した30代のご夫婦は「珍しい行事だと思って参加しました。目の前に広がる炎がきれいで感動しました。明日は中学生のとき以来の登山をします。今日見上げた大山が思ったより高く感じて登れるか少し不安ですが、楽しみです」と話していました。



♪ 大山賛歌フェスティバル ♪

(6月4日博労座特設ステージ)

湧き上がる感性で大山賛歌をアレンジ

夏山開き祭のメインイベント・大山賛歌フェスティバルが博労座駐車場特設ステージで行われました。「大山賛歌〜わがこころの山」は、昭和46年に大山国体冬季大会を記念して作られました。(作詞は当時大山中学校3年生だった松田美代子さん) 大山の歌として長い間親しまれているこの大山賛歌を、5組のバンドが独自にアレンジして披露しました。レゲエ、バラード、アカペラなど

それぞれが工夫を凝らした演奏に約1,500人の観光客が聞き入りました。審査の結果、5組すべてのアレンジ曲がCD化されることに。今年秋ごろには発売される予定です。

フェスティバルのゲストは、ばんばひろふみさん。「SACHIKO」などを熱唱し、見物客を沸かせました。最後は大山賛歌を会場全員で大合唱しました。